
















<b>安全上のご注意</b> （ご使用前によくお読みください）	
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。	
●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分しています。	
	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 <b>警告</b>	誤った扱いをすると、死亡又は重傷などを負う可能性が想定される内容です。
	分解したり改造をしないでください。火災、感電、けがの原因になります。
	電池は充電、分解、加熱、火の中に入れてたりしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。
	付属部品（木ねじなど）や本体から取り出した電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師とご相談ください。
 <b>注意</b>	誤った扱いをすると、傷害を負う可能性又は物的損害の発生する可能性が想定される内容です。
	次のような場所では使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"><li>温度が40℃以上になる所（長時間直射日光が当たる所や暖房機具等の熱風や火気に近い所など）</li> <li>温度が0℃以下になる所</li> <li>静電気が発生する所</li> <li>強い磁気や振動のある所</li> <li>多量の油分や薬品等による揮発性物質やガスが発生する所</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>不安定な所</li> <li>屋外</li> <li>ほこりや浴室などの湿気の多い所</li></ul>
	落としたり、強くぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。故障、の原因になります。
	電池を誤使用すると液漏れ、発熱、破損の恐れがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>＋、－（プラス、マイナス）を逆さに入れないでください。</li> <li>新しい電池と使用した電池や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。</li></ul>
	時計を使わない時は、電池を外してください。電池を入れたままにしておきますと、電池の液が漏れて時計やその周辺を傷めたり人に危害を与える場合があります。

## ●こんなときには

- 電池を入れ、秒表示がカウントを始めたものの、12分以上たっても正しい時刻を表示しないとき
  - 電波受信の状態が不調です。別の位置に移動するか(できれば窓の近くで表示部又は、裏面を送信所方向に向ける)、考えられる障害物(テレビ・家電機器など)から離れた場所(約2m位)で、電池を約1分間ははずした後、再セットして一昼夜様子をみてください。
  - ※送信所は「電波時計について」をご確認ください。
- 時刻信号をキャッチし、液晶表示が正常な動きをしているにもかかわらず、現時刻とちがった表示をしているとき
  - 雷雨等の自然現象や、その他の電波障害により誤った電波信号をキャッチする場合があります。場所をかえ、強制受信させてください。
  - ※電池電圧が低下している可能性があります。
- この時計を海外で使用するとき
  - 標準時刻電波は、国によって周波数、時刻信号の内容が異なりますので、電波時計としては使用できません。
- 時刻が表示されない、薄く表示されている、表示が異常なとき
  - 電池の(+) (－)が間違えてセットされている場合があります。再度ご確認ください。
- 受信環境の良い場所が見つからず、すぐに時計を使用したいとき(受信をさせてもアンテナマークが点灯しないとき)
  - 通常表示のときに、(時刻設定)ボタンを約3秒以上押し続けると「手動時刻セット」モードとなりますので、手動で時刻をあわせてから、受信環境が良いと思われる場所に置いて下さい。自動受信機能によって1日3回受信を行います。受信環境がよくなれば、標準時刻電波を受信して正しい時刻が表示されます。
  - ※受信環境は時刻、周辺の状況、天候により変化します。

	電池交換時は、すべて新しい電池を使ってください。電池から液が漏れていないかを念のため調べてください。
	電池は約1年で交換してください。同一の電池を長期間ご使用になりますと、電池の液が漏れて電極やその周辺が腐食することがあります。
	オキシライド電池、二次電池(充電式電池)は、時計のような低電圧を連続的に使用する製品で使用した場合、アルカリ電池に比べて電池寿命が短くなる、適切に動作しないなどの不具合が生じる恐れがありますので、使用しないでください。
	保管する際は、幼児の手の届かない所に保管してください。

## ●静電気について

静電気の影響でまれに異常動作を引き起こすことがあります。このような場合は、電池を一旦外しそのままの状態で、10分程度放置後、再び電池をセットすると復帰します。

## ●お手入れについて

ケースが汚れた時は石ケン水、水などを布に染み込ませ、かたく絞った上で拭き取ってください。

<b>注意</b>	シンナー、ベンジン、クリーナーなどは絶対に使用しないでください。
-----------	----------------------------------

## ●保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については下記をよくご覧ください。本製品の保証ならびにアフターサービスは、日本国内に於いてのみ有効です。海外での保証・アフターサービスは行なっておりません。
- 保証期間中、保証規定に基づいた修理品はお買い上げ店がお預かりし、メーカーが無償で修理致します。必ず販売店名捺印の保証書を添えて修理をご依頼ください。
- 保証期間中でも無償修理の対象とならない修理品、および保証期間終了後の修理品は、ご希望により有償で修理を承ります。
- 修理が可能な期間は、ご使用状態により異なります。また、修理が可能な場合でも規定の精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談の上、修理をご依頼ください。
- 修理の際、部品・その他すべての付属品は、一部代替部品を使用させていただく事もありますのでご了承ください。
- 保証期間外もしくは保証の対象とならない修理の際は、本体の修理代金の他に お買い上げ店と修理窓口との間の往復運賃・諸掛り費用をお客様にてご負担願います。修理代金が標準小売価格を上回る場合がありますので、お買い上げ店とよくご相談の上、修理をご依頼ください。
- 保証期間中、終了後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込み願います。修理を依頼される際は お買い上げ店にご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理になりますのでご了承願います。
  - 本保証書のご提示がない場合。
  - 本保証書に販売店およびお買い上げ日の記入が無い場合。または、字句を書換えられた場合。
  - 誤ったご使用、不注意、不当な修理・改造、火災、天災地変による故障や損傷。
  - ご使用中に生じる外観上の変化（フレーム・ガラス・その他付属品のキズや変色等）

●製品仕様	
受信電波	長波JJY(標準電波)
受信周波数	40kHz/60kHz自動切換え式
動作電圧	2.4V～3.5V
自動受信回数	1日に3回(午前2時3分、4時3分、6時3分)
時間精度	受信していない時、平均月差±30秒以内(常温使用時)
使用温度範囲	0℃～40℃
温度計表示範囲	－10℃～50℃ －10℃以下は“LL”、50℃以上は“HH”と表示
温度計精度	精度±2度(－10℃～50℃の範囲で)
湿度計表示範囲	20%～99% 20%以下は“LLまたはHH”、99%以上は“HH”と表示
湿度計精度	精度±5%(常温で)
アラーム精度	セット時刻に対し±0分以内
アラーム音継続時間	最長2分間
スヌーズ作動間隔	5分
アラーム音	電子音
液晶表示誤差	±1秒以内
使用電池	単3乾電池 2本(※アルカリ電池推奨)
電池寿命	アルカリ電池約1年 マンガン電池約6ヶ月
付属機能	マニュアル時刻設定機能、強制受信機能、カレンダー機能、温度計機能、湿度計機能、12/24表示切替え、スヌーズ機能

保証書
製品型番
お買い上げ日
お客様氏名
お客様住所
ご連絡先電話番号
販売店

お客様専用ダイヤル
<b>保土ヶ谷電子販売株式会社</b>

受付時間 10:00～12:00 13:00～17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

保土ヶ谷電子販売(株)アフターサービス
〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1 (土日休日を除く平日10:00～12:00.13:00～17:00)

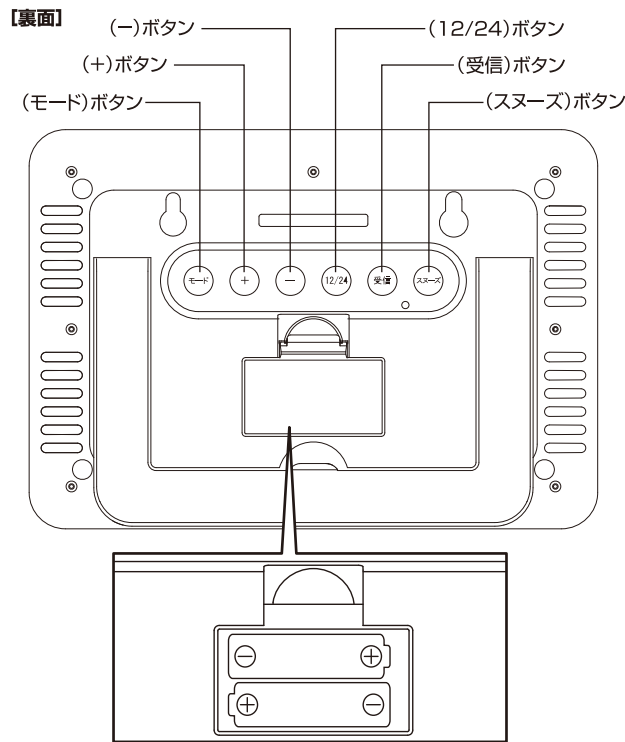
- この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。
- 印刷による制限のためこの取扱説明書中の図が実際の表示と異なることがあります。
- この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対しても製造者、販売者共に購入者または第三者に対してなんら責任を負いません。
- この取扱説明書を発売元の許可無くして変更・複製することを禁じます。

保土ヶ谷電子販売(株)
<b>電波時計</b>
取扱説明書・保証書
取説番号：HT-003-B
このたびは弊社商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

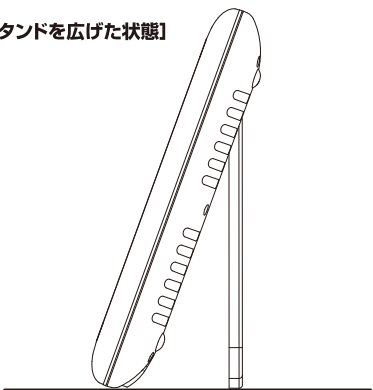
## ●商品の特長

- この時計は正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準時刻電波を受信すると自動的に現時刻を表示する電波時計です。
- 電波の受信できない場所では、クォーツ時計として作動し、その誤差は月差±30秒です。
- 40kHz／60kHzいずれか受信状況の良い周波数の電波を選択して受信します。自動受信機能により、1日3回(午前2時3分、4時3分、6時3分)、自動時刻修正を行います。
- 温度計・湿度計・カレンダー付きです。

## ●各部の名称



## 【置き用スタンドを広げた状態】



## ●ご使用方法とご注意

### ■時計を合わせる

- 1.電池を入れます。
  - ①裏面の電池カバーを外して下さい。
  - ②電池ホルダーの(+)(-)方向を間違えないように電池を完全にはめ込んでください。絶縁フィルムが付いている場合は、取り出してください。

### 注意

- (+)(-)を逆に入れますと時計は動きません。又、故障の原因になります。
- 付属の電池はモニター用電池のため、記載の電池寿命に満たない場合があります。(モニター用電池は時計機能や性能を確認するための電池で、時計本体価格には含まれていません。)

- ③電池を入れると約3秒間液晶が全表示、その後電子音が一度鳴ったあと、初期受信に入ります。(この時の設定は2006年1月1日午前12時、アラーム時刻は午前7時です。)
- ④受信に成功するとアンテナマークが点滅から点灯に変わり、同時に現在日時が表示されます。



電波を受信中、アンテナマークは、受信状況に応じてその表示が変化します。

- ※最も受信しやすい方向は、表示部または裏面が電波送信所に向くように置いたときです。
- ※受信中に本機を動かしていると受信能力は低下します。
- ※受信が完了すると受信した時刻の“時・分・秒”“月・日・曜日”が表示されます。
- ※電池をセットしてから受信完了までは最長で12分程度かかりますが、地域、環境条件によって異なります。初めて電池をセットし、電波を受信しなかった場合でも、夜間は昼間と比べて電波受信状況が良くなるため、一昼夜そのままにして様子を見て下さい。
- ※万一、正常に受信をしない場合は、窓際など電波を受信しやすい場所に置いてもう一度受信させるか、後記「■手動で任意の時刻を設定する」で時刻設定をしてください。

### ●受信しづらい、まれに誤った時刻を表示するなどがあったときは。

ご使用していて、受信がしづらい、誤った時刻を表示するなどの場合、窓のそばに設置する、送信所に対する商品の方向を合わせる、金属板の上に置かない、金属製品から離すなど、置き場所を変えてご使用いただくと、それらの症状が改善されます。

電波時計は、微弱な電波を受信して時刻を修正しています。この微弱な電波を受信するアンテナは、送信所に対しての向きが合っていない場合、すぐ近くに金属製品がある場合、取扱説明書に記載のノイズの発生源が近くにある場合や、地下室、ビルの中など電波のとどきにくい所では、その性能を十分に発揮できません。

### ■アラームをセットする、解除する

- 1.アラーム時刻セット  
通常表示の際、(モード)ボタンを1回押してアラーム時刻を表示させ、再度モードボタンを約2秒長押しします。
  - ①“時”が点滅します。(+)または(-)ボタンで“時”を設定し、(モード)ボタンを押します。
  - ②“分”が点滅します。(+)または(-)ボタンで“分”を設定し、(モード)ボタンを押します。
  - ③アラームセット終了後、(+)または(-)ボタンを押して、液晶上にアラームマーク(●●●)を表示させると、設定した時刻にアラームが鳴ります。 ※操作中、(+)または(-)ボタンを押し続けると、数値は早送り出来ます。 ※設定中、約20秒間何も操作しないでいると、そのときの設定時刻で設定されます。
- 2.アラームをセット／解除する  
通常表示の際、(+)または(-)ボタンを押して、液晶上にアラームマーク(●●●)を表示させます。これで設定されたアラーム時刻にアラームが鳴ります。
- 3.アラームの止め方  
アラームが鳴った際、(スヌーズ)ボタンを押すと、アラームは一旦止まり、約5分後に再び鳴ります。(スヌーズ機能)  
スヌーズ動作中は(Zz)マークが点滅表示します。この動作はスヌーズ機能を解除しない限り続きます。  
※(スヌーズ)ボタン以外のボタンを押してもアラームは停止しますが、この場合スヌーズ機能(繰り返しアラーム)は動作せず、翌日のアラーム時刻にアラームが鳴ります。  
※アラームを止めない場合、約2分後に自動停止し、翌日同時刻に再び鳴ります。  
アラームを完全に止める場合、(+)または(-)ボタンを押して、液晶上のアラームマーク(●●●)を消します。これでアラームは鳴らなくなります。

### ■自動受信以外で受信をさせる

任意に受信動作をさせる機能です。通常時刻表示の際、受信ボタンを約2秒押し続けると強制受信に入り、受信を開始します。強制受信を解除するには、受信ボタンを1回押すと、受信動作を停止します。

### ■手動で任意の時刻を設定する

- 海外などJJY電波送信圏外で、普通のクォーツ時計として使用したいときは、手動で時刻をセットすることができます。また、受信環境の良い場所、受信動作をさせても受信ができないとき(アンテナマークが点灯しないとき)も手動で時刻をセットすることができます。
- ①通常表示のとき、(モード)ボタンを約2秒押し続けると手動時刻セットモードになります。(+)または(-)ボタンを押して0秒に設定し、(モード)ボタンを押します。((+)または(-)ボタンを押さなくても(モード)ボタンを押すと、次の時の設定に進みます。その場合、秒は00秒には設定されません。)
  - ②“時”が点滅します。(+)または(-)ボタンで“時”を設定し、(モード)ボタンを押します。
  - ③“分”が点滅します。(+)または(-)ボタンで“分”を設定し、(モード)ボタンを押します。
  - ④“年”が点滅します。(+)または(-)ボタンで“年”を設定し、(モード)ボタンを押します。
  - ⑤“月”が点滅します。(+)または(-)ボタンで“月”を設定し、(モード)ボタンを押します。
  - ⑥“日”が点滅します。(+)または(-)ボタンで“日”を設定し、(モード)ボタンを押します。これで手動時刻セットが完了します。
- ※操作中、(+)または(-)ボタンを押し続けると、数値は早送り出来ます。  
※設定中、約20秒間何も操作しないでいると、そのときの設定時刻で設定されます。  
※手動時刻設定後も、自動受信時刻になると受信を開始します。

### ■12時・24時表示切替え方

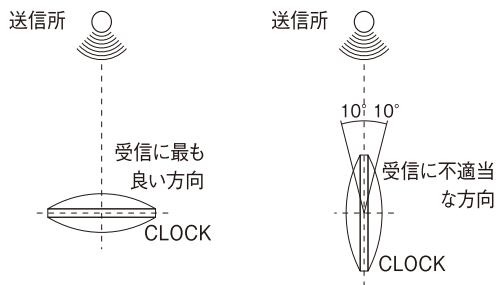
通常表示の時、1 2 / 2 4 ボタンを押すと、1 2 時間表示、2 4 時間表示の切り替えができます。

### ■受信しやすい方向

- 時計の表示部、または裏面を標準時刻電波送信所に向かい合う位置に置く
- と、最も受信状態がよくなります。

〈標準電波送信所の位置〉

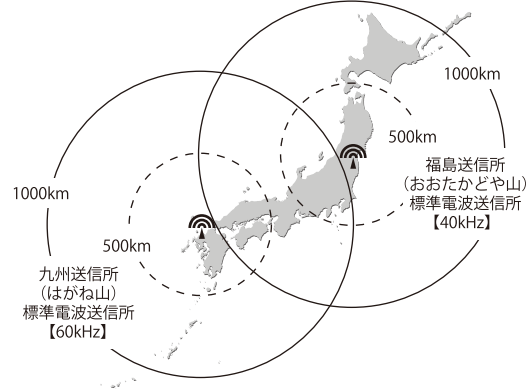
- ・福島県田村市 おおたかどや山…40kHz
- ・福岡県と佐賀県の県境 はがね山…60kHz



## ●電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、福島県の「おおたかどや山(40kHz)」と、福岡県と佐賀県の県境の「はがね山(60kHz)」の2か所から送信されています。これらの電波は条件の良い時は発信所から1.000~1.200km離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・地形・建物・時間帯・置き場所・時計の向きなどの影響で受信できない場合がございます。その場合はクォーツ時計として製品仕様に記載された精度で作動します。

〈送信所の位置〉



標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。  
独立行政法人情報通信研究機構 <http://www.nict.go.jp/>  
日本標準時プロジェクト <http://jly.nict.go.jp/>  
※送信設備のメンテナンスにより電波が停波される場合がございます。

## ●使用場所について

- 本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際は出来るだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
- ビルの中、ビルの谷間、地下。
  - 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
  - テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
  - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
  - 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
  - その他電波ノイズを発生させるものの近く。
  - スチール机等の金属製の家具の上や近く。

